

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年8月26日

事業所番号	2770901870	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 スギタ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	サポートハウス 城南	評価調査日	平成 21 年 8 月 21 日
所在地	高槻市城南町二丁目16番16号 電話 072-675-1219	評価確定日	平成 21 年 8 月 28 日

【情報提供票より】 (平成21年8月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	14人常勤 2人 非常勤 12人 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物の構造	単独 鉄骨 2階建ての(1階～2階部分)
-------	-------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (月額)	50,000円	その他の経費	35,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 500,000円 償却1年未満20万返却1年以上返却なし全て利息なし		
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり 1500円		

(4) 利用者の概要 (8月11日現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢 平均	82才	最低	75才	最高	93才
(5) 協力医療機関					
近藤診療所・ワダデンタルクリニック					

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

施設は開設以来5年目で、経営理念に掲げた基本の4項目に基づいた介護が行われ、利用者は明るく楽しい毎日を送っている。又、職員の入れ替わりも少なく、勤続年数も長くなっているが、運営者が職員の資質向上に配慮して指導しており、殆どの職員が資格のレベルアップに努めている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回の評価以後に管理者の移動があったが、介護のレベルには影響なく移行し、利用者は明るく楽しそうな日々を送っている。前回の評価で地元の方々との交流について課題が提起されたが、運営推進会議に出席の民生委員のご協力とご努力により情報交流が進められ、介護向上につながっている。又、地元の同業者との情報の交換については、尚一層の努力を期待します
重点項目②	今回に自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者の交代もあり、日常的な介護業務については、管理者と職員が日常業務の見直しを行いながら今回の自己評価票の作成が行われた。管理者は新任の職責上、過去の利用者の全記録を年度ごとに集約し、新しい計画作成の基本として進めるよう準備している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議では自由に懇談されており、特に地元の民生委員さんから管理者に、各種の情報を提供して頂き、介護向上に活用させて頂いている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族アンケートでも8名中7名のご満足を頂いており、特に運営推進会議では、ご家族の代表者から、円滑な運営についてのご発言を頂いている。又、ご家族に対して毎月、写真入りのホーム便りに近況を添え書きしてお伝えしている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	施設開設5年目となり、運営推進会議の民生委員から特に配慮を頂いて交流が進められているが、自治会の回覧板には当施設の案内文書を掲載している。又、近隣の方々には居住暦の古い方が多いので、徐々に日常のご挨拶からの交流を進めているが、職員一同にも配慮を指導している

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営理念 ・御入居者が主人公 ・ 尊厳を保つ ・ 生き甲斐のある生活 ・ 地域社会と共に を挙げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念を施設内の玄関、事務所、食堂に掲示している。内部勉強会（いわゆる職員会議も含む）を毎月開催して、職員に適宜、理念の実践を指導している		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	民生委員さんを介して種々の情報交流が行われており、回覧板も利用させてもらっている。自治会の清掃日、集会にも参加している	○	長い目で職員一同で「愛される施設」となれるよう、努力して、近所の方々との交流を続けて欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が交代したこともあり、原点に戻って職員、管理者とが話し合いをしながら検討を行った		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議にご出席の地域の民生委員さんには、何かと情報提供をして頂き、運営に活かしてもらっている。会議は自由な雰囲気話し合いが進められている	○	2ヶ月ごとの開催に努力して欲しい、尚、市役所包括センターとの連携にも配慮して欲しい
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所へ所用で訪問の際には、必ず挨拶に立ち寄り、情報交流に努めている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々に合わせた報告をしている	毎月の郵便発送には写真入りのホーム便りを送り、近況報告の一言を記入している		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族代表に出席して頂き、発言して頂いている。来訪時には出来るだけ、お話し合いの時間を頂いて運営に反映させている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	同業者との情報交換は、介護力向上の参考となる場合が多いので、極力、参加して欲しい

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--------------------------------------------------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	○	内部資料としての各種の記録ノート・個別記録等に、全員の閲覧確認の捺印、サイン等の実施方法を検討して欲しい
--	----	----	---------------------------------------------------------------------------------------------------	---	------------------------------------------------------

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	基本は3ヶ月毎の見直しとしている、平常と異なる症状が出た場合には新たな計画を医師、ご家族、関係者、職員と話し合っ て作成している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の要望に応じ、施設 の多機能性を活かして支援している		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られた、かかりつけ 医と、事業所の関係を築きなが ら、適切な治療を受けられるよ うに支援している	掛かりつけの医師と普段から懇 意に話し合い、適切な治療を受 けられるよう支援している		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり 方について、できるだけ早い段階 から本人や家族等ならびに、かか りつけ医等と繰り返し話し合い、 全員で方針を共有している	今年度も1名様をお送りされて いる。基本的には、ご家族とは 早い段階から話し合い、契約時 の内容に沿って準備をし、職員全 員も情報方針を共有している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシー を損ねるような言葉かけや対応 、記録等の個人情報の取り扱い をしていない	職員は個人情報への配慮を日常 から指導している。個人情報に 関する文書については、普段は 開放しない箇所に保管している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先 するのではなく、一人ひとりの ペースを大切に、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそ って支援している	日常生活は、利用者の意向を優 先して支援している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよ う、一人ひとりの好みや力を 活かしながら、利用者と職員 と一緒に準備や食事、片付け をしている	現状では利用者全員が、食事前 後の手伝いをするのは困難と なっている。食事中は音楽を流 して楽しい雰囲気を持たせてい る		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
--	----	----	-------------------------------------------------------------------------------------	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		